

# 自宅電飾ファイナル

常総の  
25日まで  
市民ら名残惜しむ

自宅全体をクリスマスイルミネーションで飾り付け、毎年話題となっていた常総市中妻町の会社員、  
■宅で、色鮮やかな点灯が今年で最終日

■さんは「目標の5年目を迎えて、ことしで終了することにした」。点灯は今年1日からスタートしているが、25日の最終日を前に大勢の市民が訪れ、名残を惜しんでいる。

■さんが自前でイルミネーションを2階建て自宅の周りやフェンス、樹木に取り付け、点灯を始めたのは2008年。電気工事士の資格も持っていることから、費用を抑えてこつこつと取り組んだ。近くを通る国道294号バイパスからも目立ち、通り掛かったドライバーが見学に立ち寄ることも。

され、最後となる点灯をひと目見ようと家族連れの姿も目立つという。最後のイルミネーションは25日のクリスマス夜の夜、午後10時まで点灯させる予定で、  
■さんは「多くの皆さまに見に来てもらった。ぜひ最後の点灯を見に来てもらえれば」と話している。

## 常陸太田 大 伊勢神社

東日本大震災で被災した大鳥居の再建を進めてきた常陸太田市花房町の伊勢神社（渡邊宣宮司）で19日、竣工祭が行われ、地域の氏子総代ら約20人が式典に出席した。

竣工奉告祭に続いて式典があり、町会長の関守さんらが新しくなった大鳥居の前で紅白



イルミネーションで飾られた  
■さんの自宅＝常総市中妻町